

総務産業常任委員会「緊急の政策提言書」を提出

【令和6年4月4日】

「松くい虫被害に関する提言書」を提出

塩尻市議会では、塩尻市議会基本条例に基づいて、常任委員会の任期に合わせて、数ある行政課題の中からテーマを絞り、調査・研究の結果を政策提案としてまとめ、提言書を市長へ提出することとしています。

今回の提言書の提出は、常任委員会の任期の中間年ですが、「松くい虫被害対策について」の調査・研究を進める中で、緊急に提言をする必要があると判断して提出となりました。

【提言内容】

- 1 被害木を早期発見するため、ドローンの活用、市民からの情報収集、巡視など従来の施策をさらに進めること。
- 2 特に保全するべき松・松林の区域を明確にし、対策を講ずること。
- 3 県と連携し自伐林家を含め、林業従事者の育成に努め、対策に必要な十分な財政措置

を講ずること。

4 信州F・POWERプロジェクトにおける地元住民・業者・市の環境保全協定の趣旨を尊重しながら、バイオマス発電の燃料材の搬入条件を緩和し、安全にしかも有効活用が図られるよう働きかけること。

※提言書の詳細はホームページに掲載しています。



提言書提出

「こども議会」を実施しました

学生の春休み期間である3月26日、塩尻市議会では初のこども議会を実施しました。対象は小学3年生から中学3年生で、今回7名の学生が参加しました。参加者は「こども議員」として議員席に座り議場の雰囲気を経験し、議会の役割に関する説明に真剣に耳を傾けていました。傍聴席からは保護者が見守る中、こども議員から行政側へ意見や質問を行いました。子ども議員の主な質問、意見は「チロルの森の再生」、「ユメックスアリーナの使用料減額」、「通学路の除雪」、「教員の生徒への寄り添い方に関する市の考え」など、身近な生活



意見書を市長へ提出する様子

意見書

わたしたちが、社会の中で認められ、平和で幸せな生活を送ることができるよう、次のように意見書を提出します。

1. こどもたちの意見や考えを聞いて、さまざまな場面にこどもたちが参加できるようにしてください。

2. 住んでいる地域や、学年に関係なく、自由に、平等に遊んだり学んだりできるようにしてください。

令和6年3月26日
塩尻市こども議会

に接した幅広い内容でした。最後には、こども議会による意見書「こども議会第1号」を市長へ提出しました。今回、市政への関心を寄せてもらう機会としてこども議会を実施しましたが、こども議員の市を想う姿を見て、市議会として今後への活力をいただきました。